

【（公財）東京都保健医療公社】の活用戦略を踏まえた課題と今後の方向性

活用戦略で定めた「団体の将来像」

地域医療機関や都立病院と連携し、医療で地域を支える病院

重要課題 ①

誰もが地域で「生き生き」と暮らせるよう、区市町村が行う地域包括ケアシステム構築に向けて、地域における中核病院としての役割・機能をいかに強化していくのか

検討の状況や今後の方向性

- 地域完結型医療の実現に向けた在宅移行支援
 - ・在宅医、ケアマネージャー、訪問看護師や介護施設との退院カンファレンス等を通じて「顔の見える関係」を構築
 - ・患者支援センターにソーシャルワーカー、看護師、栄養士、薬剤師等の多職種を配置し、在宅移行支援機能を強化
- 在宅医療の後方支援機能
 - ・大学病院と連携した総合診療医の育成、在宅医の休日に診療を行う「連携医サポート」等を通じて、在宅患者の急性増悪時の円滑な受入体制を強化
 - ・在宅医療で必要とされる皮膚・排泄ケアや栄養管理等について、専門的な知識を持つ認定看護師等による在宅医療従事者向けの研修や技術支援を実施
- 地域医師会との密接な協力・連携に基づきながら、地域住民と医療・介護サービスを繋ぐコーディネーターとして地域包括ケアシステムの構築に貢献

【（公財）東京都保健医療公社】の課題と今後の方向性

重要課題 ②	政策連携団体としての位置づけを踏まえ、都庁グループの一員として、都立病院との連携を含めた都施策に貢献していく。
検討の状況や今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">○ 高度専門医療を提供する都立病院との連携により、公社の提供する地域医療との切れ目のない、質の高い医療提供体制を確保<ul style="list-style-type: none">・画像共有システムによる脳血管疾患の診療連携（東部地域病院と都立墨東病院）・都立病院との連携による行政的医療の提供（感染症医療や精神科医療等）○ 在留外国人や訪日外国人の増加に向けた外国人患者の受入環境を整備<ul style="list-style-type: none">・JMIP（外国人患者受入れ医療機関認証制度）の全病院での認証（現在3病院認証済）・「外国人患者受入れ環境整備事業」等の外国人患者受入施策への協力○ 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への協力<ul style="list-style-type: none">・医療サービスの提供体制の構築に向けた医療スタッフの派遣○ 地域における子育て環境の充実への貢献<ul style="list-style-type: none">・病児・病後児保育事業や在宅で療養中の児童を一時的に受け入れる事業を継続実施